# (3) がん検診概要

胃がん検診

子宮がん検診

肺がん検診

乳がん検診

大腸がん検診

前立腺がん検診

## 胃がん検診

888事業所及び個人受診者14,836人と、ドックで4,439人、健康管理センターで11,749人の計31,024人を実施した。前年度に比べて、125人(0.40%)の減少となった。また、受診者の5.4%にあたる1,677人が要精検となり前年度より0.2ポイント低い要精検率となっている。年間の実施日数は1,547日(前年より20日の増加)で、一日当たり20.1人を実施した(表1)。

受診者総数31,024人を男女別でみると、男性20,126人(64.9%)、女性10,898人(35.1%)と、男性が多く、女性の約1.8倍であった(図1)。

年齢階層別では、40代11,238人(36.2%)、50代10,884人(35.1%)、60代5,236人(16.9%)の順となっている(図2)。 過去6年間の推移をみてみると50代、40代では30%台で推移し、60代以降では上昇傾向を示し、30代以下では下降傾向を示している点は実施要領によるものと思える(図3)。

総合健診センター

表 1 受診者数及び要精検者数

	出張	検診	施	設	ドッ	ック	合	計	のべ	ロ业たり
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数(%)	実施日数	一日当たり 実施数
事業所	8,992	444 (4.9)	5,844	309 (5.3)	4,439	264 (5.9)	19,275	1,017 (5.3)	1,194	16.1
附属を	あおもり健	康管理セ	ンター							
事業所	2,732	150 (5.5)	9,017	510 (5.7)	*	*	11,749	660 (5.6)	353	33.3
合 計										
事業所	11,724	594 (5.1)	14,861	819 (5.5)	4,439	264 (5.9)	31,024	1,677 (5.4)	1,547	20.1
前年度	11,911	646 (5.4)	14,787	859 (5.8)	4,451	244 (5.5)	31,149	1,749 (5.6)	1,527	20.4

図 1 受診者数 (男女別)

図 2 年齢階層別受診状況

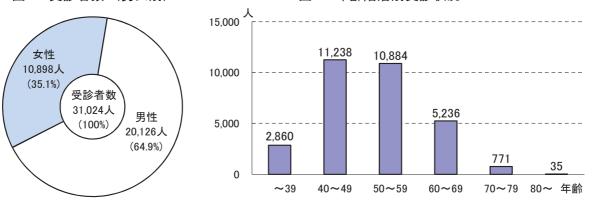
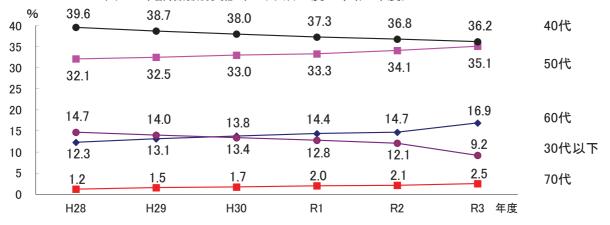


図 3 年齢階層別受診率 (平成28度~令和3年度)



要精検者1,677人のうち精検受診者は1,215人(72.5%)で(図4)、前年より3.4ポイント減の精検受診率となった。男女別の精検受診率は、女性の78.5%に対し、男性は70.7%と女性より7.8ポイントも低かった(表2)。

また、実施主体別で見ると、市町村の精検受診率83.2%に比べ、事業所の精検受診率は72.5%、ドックでは72.0%で、それぞれ10.7ポイントと11.2ポイント低かった(表3)。

精検受診者の主な発見疾患は、胃がん発見数15人(0.04%)のうち早期がん13人、進行がん2人で、胃ポリープ130人(0.41%)、胃潰瘍30人(0.09%)、胃炎600人(1.93%)などであった(表3)(表4)(表5)。

図 4 精検受診状況

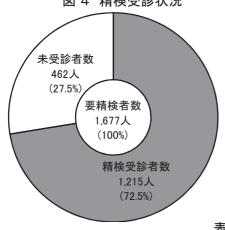


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数(%)
男 性	1,309	926 (70.7)
女 性	368	289 (78.5)
計	1,677	1,215 (72.5)

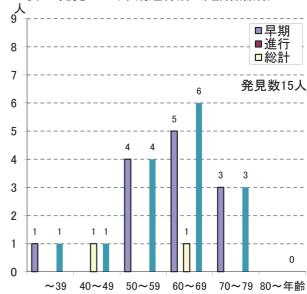
表3 主な発見疾患

	受	要	精検				精	青 征	玄	検 査	結身	<b>果</b>			要精	カュ
	診 者 数	精 検 者 数	使受診者数 %)	<b>胃がん</b> 早 進 期 行	胃がん疑	胃ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	共存潰瘍	胃潰瘍瘢痕	胃 炎	その他	異常なし	計	検者 本人	らの受診報告
事業所	26,585	1,413	1,025 (72.5)	12 11 1	1	101	28	11		62	529	109	138	991		34
ドック	4,439	264	190 (72.0)	3 2 1	1	29	2	2		11	71	35	29	183		7
合 計	31,024	1,677	1,215 (72.5)	15 13 2	2	130	30	13	0	73	600	144	167	1,174		41

表4 発見がん(年齢階層別・男女別・早期進行別)

	,,,	0.0 · 0 · 1 · 1	ari	73-1733	
				男女計	
~39	男 女	1		1 0	1
40~49	男 女		1	0 1	1
50~59	男 女	4		4 0	4
60~69	男 女	3 2	1	4 2	6
70~79	男 女	3		3 0	3
80~	男 女			0	0
男女計	男 女	11 2	1 1	12 3	15
合 言	+	13	2		-

表5 発見がん(早期進行別・年齢階層別)



# 子宮がん検診

278事業所及び個人受診者 1,786人と、ドックで 1,597人、健康管理センターで 1,324人の計 4,707人に実施した。なお、頸部受診者の 1.7%に当たる 82人が要精検となり、前年より 0.4ポイント減の要精検率となった(表1)。

検査方式別では、出張検診及び施設(センター)で 3,110人(66.0%)、ドックで1,597人(34.0%)であった(図1)。前年に比べて、出張検診及び施設(センター)で98人の増、ドックで22人の減で計 76人の増加であった。

また、一次検診における主な発見疾患は、子宮筋腫 192人(4.0%)、ポリープ168人(3.7%)などであった。

総合健診センター

表 1 受診者数及び要精検者数(頸がん)

	受診者数	要精検者数(%)	実施日数	一日当たり 実 施 数
出張検診	486	9 (1.9)	29	16.8
施設	1,300	27 (2.1)	69	18.8
計	1,786	36 (2.0)	98	18.2
ドック	1,597	21 (1.3)	108	14.8
合 計	3,383	57 (1.7)	206	16.4

#### 附属あおもり健康管理センター

的周边000万亿次日子已27				
施設	1,324	25 (1.9)	41	32.3
計	1,324	25 (1.9)	41	32.3

合 計

<u>_HH_</u>					
出張検診	486	9	(1.9)	29	16.8
施設	2,624	52	(2.0)	110	23.9
計	3,110	61	(2.0)	139	22.4
ドック	1,597	21	(1.3)	108	14.8
合 計	4,707	82	(1.7)	247	19.1
前 年 度	4,631	96	(2.1)	171	27.1

図 1 方式別受診状況

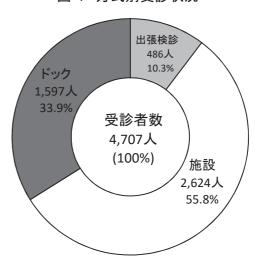


表 3 一次検診における発見疾患

	受	ビ	ビ	$\overline{}$		膣	炎		ポ	外月	腫	子	卵	子	膣	そ	所
	診者	ラン	ラ	疑 悪 生	トナリスコ		(キャンジダ	その	IJ l	陰		宮筋	巣腫	宮		Ø	見な
	数	(+)	ン、	_	モ症	類	$\overline{}$	他	プ	膣	瘤	腫	瘤	脱	脱	他	し
出張検診	486								15			12	1	1	1		459
施設	2,624								78			66	1	1	2	6	2,475
ドック	1,597								75			114				12	1,407
合 計	4,707								168			192	2	2	3	18	4,341

子宮がん(頸部)検診の要精検者 91人のうち精検受診者82人 (90.1%)で、前年に比べて 6.8ポイント上回った (表4)。

精検の結果、頸がんが1人で、上皮内がんが2人であった(表5)。

表 4 精検受診状況(頸部)

	要精検者数	精検受診者数(%)	発見がん					
出張検診	9	9 (100.0)						
施設	61	42 (68.9)	3					
ドック	21	17 (81.0)						
合 計	91	68 (74.7)	3					
前年度	96	80 (83.3)	(1) 1					

()は体部癌等

表 5 発見頸がん(進行別・年齢階層別)

	上皮内がん	浸潤がん	早期	進行	合 計
~29	1		1		1
30~39					
40~49	1	1	1	1	2
50~59					
60~69					
70~79					
80~					
合 計	2	1	2	1	3

# 肺がん検診

事業所及び個人受診者16,976人と、ドックで5,300人、健康管理センターで958人の計23,234人を実施した。前年度に比べて、166人 (0.7%)の減少となった。受診者の1.6% にあたる365人 が要精検となり、前年度より0.1ポイント下回った。また、肺がんX線撮影受診者22,675人のうち、ハイリスク・グループを対象に実施した喀痰細胞診検査は、事業所の対象者1,177人のうち検査者1,171人 (99.5%) となり前年度と比べ0.1ポイント低く、ドック、健管では100%の回収となった。

なお、年間の実施日数は851日(前年より19日増)で、一日当たり27.3人を実施した(表1)。 受診者総数23,234人を男女別でみると、男性14,956人(64.4%)、女性8,278人(35.6%)と男性が多く、女性の約1.8倍であった(図1)。

年齢階層別では、40代7,592人(32.7%)、50代6,931人(29.8%)、30代以下4,937人(21.2%)の順となっている(図2)。過去の推移をみてみると、30代以下が上昇を示しており、他の年代は減少傾向がみられる(図3)。

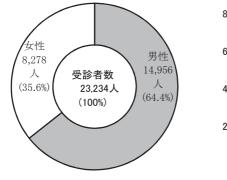
健診センター

表 1 受診者数及び要精検者数

区分	胸部X線核	食査、CT検査	喀痰細胞診検査			一日当たり
主体別	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	実施日数	実施数
出張	14,601	192 (1.3)	414	1 (0.2)	262	55.7
施設	2,375	40 (1.7)	132	0 (0.0)	174	13.6
ドック	5,300	120 (2.3)	451	0 (0.0)	211	25.1
合 計	22,276	352 (1.6)	997	1 (0.1)	647	34.4
附属健康管:	理センター					
事業所	958	13 (1.4)	174	(1.1)	204	4.7
合 計	•	•	•	•		•
合 計	23,234	365 (1.6)	1,171	3 (0.3)	851	27.3
前年度	23,400	401 (1.7)	1,157	4 (0.3)	832	28.1

図 1 受診者数 (男女別)

図 2 年齢階層別受診状況



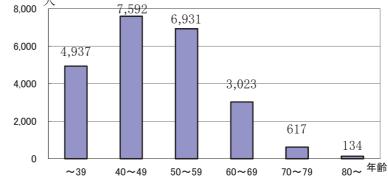
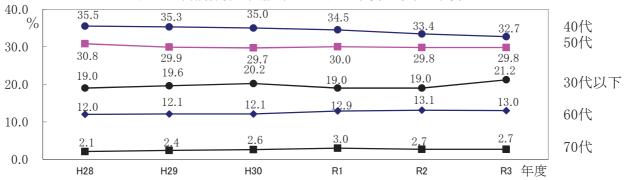


図 3 年齢階層別受診率 (平成28年度~令和3年度)



X線撮影で要精検となった365人のうち精検受診者は319人(87.4%)で(図4)、前年と比べ 0.4ポイント増加であった。男女別の精検受診率は、男性の84.0%に対し、女性は93.3%と男性より9.3ポイント高かった(表2)。実施主体別でみると、ドック78.3%、事業所は91.8%であった。

また、精検受診者の主な疾患は、肺がん7人、肺がん疑18人、他呼吸器114人であった。 喀痰細胞診検査については要精検者は3人であった。

図 4 X線·CT精検受診状況

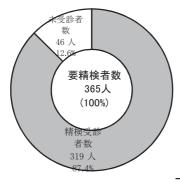


表2 X線·CT精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数(%)				
男性	231	194 (84.0)				
女 性	134	125 (93.3)				
計	365	319 (87.4)				

表3 主な疾患

	区分	受	要	精	精密検査結果											
		受診者数	要精検者数	精検受診者数		肺がん	'	肺がん疑	他悪性腫	結核要医	結核要観	結核治癒	他呼吸器	循環器	他異常	異 常 な し
主任	本別		数	者 数	早期	進行	不明	矩	瘍	療	祭	ルバ	রন			C
X 線	事業所	17,934	245	225	2	7 5		9	1			1	84	2	16	105
C T	ドック	5,300	120	94				9					30	1	12	42
検査	計	23,234	365	319		7	0	18	1	0	0	1	114	3	28	147
喀	事業所	720	3	3	1**	1**										2
喀痰検査	ドック	451														
査	計	1,171	3	3									0			2
	合	計	368	322	2	7 5	0	18	1	0	0	1	114	3	28	149

表 4 確定がん (年齢階層別・男女別・早期進行別) X線(CT含む)

区分		早	期	がん	/	j	進 行	<b>ラ</b> が	$\lambda$		不	明	
	男	性	女	性	計	男	性	女	性	計	男性	女性	合 計
年齢別	X線	喀痰	X線	喀痰	ΡΙ	X線	喀痰	X線	喀痰	pΙ	X線	X線	
~ 39													
$40 \sim 44$	1				1								
$45 \sim 49$								1		1			
$50 \sim 54$													
$55 \sim 59$								1		1			
$60 \sim 64$	1	1**			1	1				1			
$65 \sim 69$						1				1			
$70 \sim 74$													
$75 \sim 79$								1		1			
80 ~													
合 計	2	1**			2	2		3		5	0	0	0
		2		0	4		2		3	J	U	U	U

## 乳がん検診

事業所及び個人受診者1,089人と、ドックで1,988人、健康管理センターで1,168人の計4,245人を実施した。前年度に比べて49人(1.1%)の増となった。

受診者の6.6%にあたる279人が要精検となり前年度比で0.3ポイント低くなった。なお、年間の実施日数は334日で、一日当たり12.7人を実施した。

受診者のうち乳房画像診断のみの者は4,245人(100%)であった。

総合健診センター

表 1 受診者数及び要精検者数・経過観察者数

	生长之体	<u>~</u>	乳がん検診			検査方法		実施	一日当たり
	実施主体	受診者数	要精検者数	文 (%)	視触診のみ	画像診のみ	視触診+画像	日数	実施数
出張検診	事業所	287	18	(6.3)	-	287	_	16	17.9
施設	尹未川	802	45	(5.6)	-	802	_	57	14.1
ドック	事業所	1,988	147	(7.4)	-	1,988	_	126	15.8
合	計	3,077	210	(6.8)	-	3,077	_	199	15.5
附属あおもり	健康管理セ	ンター							
施設	事業所	1,168	69	(5.9)	-	1,168	_	135	8.7
	計	1,168	69	(5.9)	-	1,168	_	135	8.7
合 計									
出張検診	事業所	287	18	(6.3)	-	287	_	16	17.9
施設	尹未川	1,970	114	(5.8)	-	1,970	_	192	10.3
ドック	事業所	1,988	147	(7.4)	-	1,988	_	126	15.8
合	計	4,245	279	(6.6)	-	4,245	_	334	12.7
前年	度	4,196	291	(6.9)	_	4,196	_		#DIV/0!

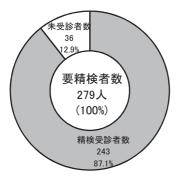
ドックでは乳房超音波検査とX線を用いた画像診断としている

## 〈精検受診状況〉

乳がん検診での要精検者279人のうち精検受診者は243人 (87.1%)で(図1)、前年と比べて3.3ポイントの減となった。精検受診者の主な発見疾患は、乳がん発見数10人 (4.1%)のうち早期がん9人、進行がん1人、不明0人で、乳腺腫瘍10人 (4.1%)、乳腺症21人 (8.6%)などであった(表2)(図2)。また、マンモグラフィ+乳腺超音波受診者は1,471人 (34.7%)で、そのうち要精検者は125人、精検受診者は106人(84.8%)、がん発見数は5例(%)であった。

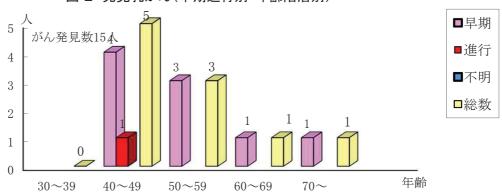
図 1 乳がん検診精検受診状況

表2主な発見疾患



Λ		受	要	診精						寅 査 絹		:	
T,	\	診	精	者検	平	しがん	2,	乳	乳	乳	線	そ	異
			検	1日 (快	寸	L/3-7	, ,	が	腺	旧白	維	<i>D</i>	常
		者	者	数受			$\lambda$	腫	腺	腺	0)	な	
	\	数	数	(%)	期行明		疑	瘍	症	腫	他	L	
E	事業所	2,257	132	118		5			7	10	8	33	53
Ľ	F /K//	2,201	102	(89.4)	4	1			'	10	Ü	00	00
	ドック	1,988	147	125		5			3	11	7	58	41
L	トック	1,900	147	(85.0)	5				J	11	1	96	41
	合 計	4,245	279	243		10			10	21	15	91	94
Ľ		7,240	213	(87.1)	9	1			10	41	10	31	34

図 2 発見乳がん(早期進行別・年齢階層別)



## 大腸がん検診

969事業所及び個人受診者18,954人、ドックで5,192人、健康管理センターで14,630人の計38,776人を実施した。前年度に比べて、83人(0.21%)の増加となった。受診者の4.2%にあたる1,644人が要精検となり、前年比で0.1ポイント低くなっている(表1)。

受診者総数38,776人を男女別でみると、男性23,987人(61.9%)、女性14,789人(38.1%)で、男性が約6割を占めている(図1)。

年齢階層別では、50代13,231人(34.1%)、40代13,065人(33.7%)、60代7,009人(18.1%)の順となっている(図2)。過去6年間の推移をみてみると、40代、50代は30%台で推移し、それに60代が続いている(図3)。

総合健診センター 表 1 受診者数及び要精検者数

	出張	検診	施	設	ド	ック	合	計
	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数(%)	受診者数	要精検者数 (%)
事業所	11,448	457 (4.0)	7,506	315 (4.2)	5,192	215 (4.1)	24,146	987 (4.1)
附属あおもり	健康管理セ	ンター						
事 業 所	3,934	155 (3.9)	10,696	502 (4.7)	*	*	14,630	657 (4.5)
合 計		_		-		_		
合 計	15,382	612 (4.0)	18,202	817 (4.5)	5,192	215 (4.1)	38,776	1,644 (4.2)
前年度	15,498	661 (4.3)	18,100	797 (4.4)	5,095	209 (4.1)	38,693	1,667 (4.3)

図 1 受診者数 (男女別)

図 2 年齢階層別受診状況

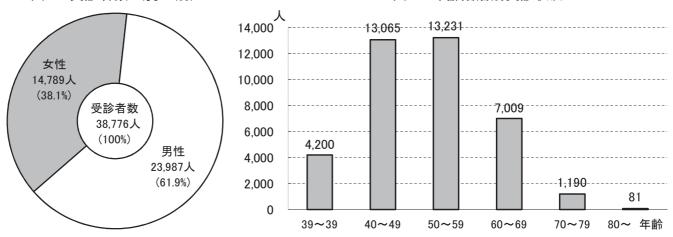
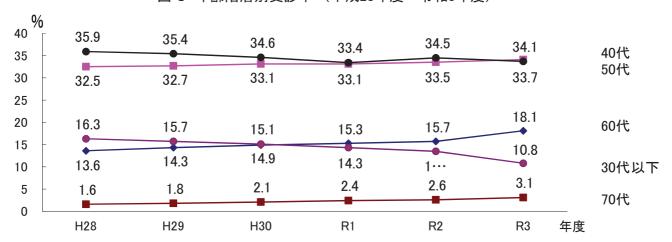


図 3 年齢階層別受診率 (平成28年度~令和3年度)



要精検者1,644人のうち精検受診者は1,093人(66.5%)で(図4)、前年に対し3.3ポイント低くなった。 男女別の精検受診率は、女性の69.1%に対し、男性は65.4%と若干の差はあった(表2)。また、実施主体別で見ると事業所の精検受診率(66.5%)が、市町村の精検受診率(79.0%)に比べ12.5ポイント低かった。

精検受診者の主な発見疾患は、大腸がん発見数34人(0.09%)のうち早期がん20人、進行がん14人、大腸ポリープ582人(1.50%)、大腸憩室58人(0.15%)などであった(表3)(表4)(図5)。

図 4 精検受診状況

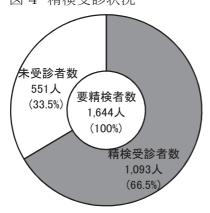


表2 精検受診状況(男女別)

	要精検者数	精検受診者数(%)
男性	1,162	760 (65.4)
女 性	482	333 (69.1)
計	1,644	1,093 (66.5)

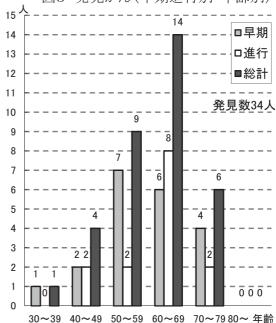
表3 主な発見疾患

	受	要	精検				精密	6 検	査 結	i 果				要から
	診	精	受	大腸がん	大	大腸	大	大	痔	その	胃疾	異常		精検者
	-+√	検	診 者	八版が八	腸が	ポ	腸憩	腸炎		他	患	な	計	受
	者	者	数	早進不	ん	リー	室	200					Н	本診人報
	数	数	(%)	期行明	疑	プ								告
事業所	33,584	1,429	953 (66.7)	29 16 13	4	514	47	25	35	16	0	243	913	40
ドック	5,192	215	140 (65.1)	5 4 1	0	68	11	4	8	7	0	37	140	0
合 計	38,776	1,644	1,093 (66.5)		4	582	58	29	43	23	0	280	1,053	40

表4 発見がん(年齢別・男女別・早期進行別)

	_	早期	進行	不明	男女計	合計
30~39	男 女	1			0 1	1
40~49	男 女	1 1	2		3 1	4
50~59	男 女	6 1	2		8 1	9
60~69	男 女	3	5 3		8 6	14
70~79	男 女	2 2	2		2 4	6
80~	男女				0	0
男女計	男女	12 8	9 5	0	21 13	34
合言	+	20	14	0		1

図5 発見がん(早期進行別・年齢別)



## 前立腺がん検診

160事業所及び個人受診者4,550人と、ドックで3,027人、健康管理センターで2,074人の計9,651人を実施し、前年度より411人(4.4%)の増だった。また、受診者の4.0%にあたる384人が要精検となった。なお、年間の実施日数は915日で、一日当たり10.5人を実施した(表1)(表2)。

実施にあたっては原則として50歳以上を検診の対象者とした。

年齢階層別では、50代3,206人(33.2%)、60代2,637人(27.3%)、70代1,321人(13.7%)、40代1,645人(17.0%)、80代以上308人(3.2%)、39歳以下534人(5.5%)となっている(図1)。

健診センター

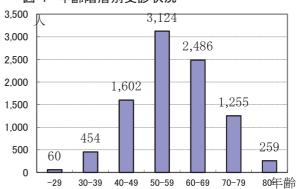
丰	1	受診者数及び要精検者数
11	- 1	又砂石双及い女相似石双

			X - ZD D X X O Z 11 1 C D X							
	出張検	診	施	設	ドッ	<i>,</i> ク	合	計		一日あたり
	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数 (%)	受診者数	要精検者数(%)	実施日数	実 施 数
事業所	3,693	164 (4.4)	857	41 (4.8)	3,027	100 (3.3)	7,577	305 (4.0)	715	10.6
附属あおも	り健康管理センタ-	_								
事業所	445	21 (4.7)	1,629	58 (3.6)	*	*	2,074	79 (3.8)	200	10.4
合計										
合計	4,138	185 (4.5)	2,486	99 (4.0)	3,027	100 (3.3)	9,651	384 (4.0)	915	10.5
前年度	3,917	174 (4.4)	2,360	101 (4.3)	2,963	80 (2.7)	9,240	355 (3.8)	957	9.7

表 2 年齢階層別要精検者数

X = 1 = 1 = 1 = 1 = 1 = 1										
区分	受診者数	正常		要制	青 検					
年齢別	文的有数	4.0 未満	4.0~10.0	10.1~20.0	20.1~50.0	50.1以上				
$\sim 29$	54	54								
$30 \sim 39$	480	479	1							
$40 \sim 49$	1,645	1,625	19	1						
$50 \sim 59$	3,206	3,126	74	6						
$60 \sim 69$	2,637	2,487	129	16	4	1				
$70 \sim 79$	1,321	1,224	83	10	4					
80 ~	308	272	31	3	2					
合 計	9,651	9,267	337	36	10	1				

図 1 年齢階層別受診状況



### 〈精検受診状況〉

要精検者384人のうち精検受診者は257人(66.9%)であった。精検受診者の主な発見疾患は、前立腺がん発見数24人(0.2%)のうち早期がん14人、前立腺肥大症133人(1.4%)などであった(表3)(表4)(図2)。

表3 主 な 発 見 疾 患

_										
	\						精密検	査結果		
		受	要	精給	前立	立腺カ	ぶん	前	その	鬼
		受診者	要精検者数	受診	早	進	不	立 腺	他の疾	異常な
		数	数	検受診者数率	期	行	明	肥大	患	ľ
ľ	事業所	6,624	284	199 (70.1)	13	22	3	101	22	54
	ドック	3,027	100	58 (58.0)	1	2	1	32	9	15
	合 計	9,651	384	257 (66.9)	14	24	4	133	31	69

表4 発見がん (年齢別・早期進行別)

	早期	進行	不明	合計
40~49				
50~59		1	1	2
60~69	7	4	2	13
70~79	6	1	1	8
80~	1			1
合 計	14	6	4	24

図2 発見がん (早期進行別・年齢別)

